

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	フルstudy三国本町教室			
○保護者評価実施期間	2025年2月12日 ～ 2025年 3月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	78名	(回答者数)	51名
○従業者評価実施期間	2025年2月12日 ～ 2025年 2月 22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別であるので1対1で行うことから1人1人の児童にあった支援が出来る ・同席が多いため保護者のニーズを常に聞くことが出来る ・専門資格を持った職員がそれぞれの分野からのアプローチができる	保護者様に声をかけ、子供の様子や保護者の様子も指導員と把握できるように努めている	相談支援も要望がある方には行っているが、こちらから保護者様の様子を見ながら話をし、それが子どもの支援にもつなげるようにしていきたい
2	避難訓練を行っているが個別なので最大3名の日にすることが多く、その日にきている子供、保護者様に確認をとり、ゆっくり話をして行うことが出来る	月に合わせて内容を決め、そのテーマにそって準備をして、内容もマンネリ化しないように取り組んでいる	避難訓練などは行っているがその日に来ている児童と行うため、来ていない児童、保護者様は行っているかわからないので行っていることを掲示等で知らせできるだけ色々な児童と行いたい
3	個別ではあるが小グループの支援を行うことにより、普段は見れない子供たちの一面や、プログラムを行うことが出来る	普段は出来ない内容を考えて行ったり、時には縦割りの年齢で異学年と関わるなどの経験が出来るように取り組んでいる	ご希望が多いが個別も行うため、行う月が限られてしまうこともあり、出来るだけ継続しつつ、たくさんの方がご参加できるように考えていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別でそれぞれの支援を行うため保護者同士の交流が少ない	・保護者同士の関わりを持ちたいという方やあえて関わりが苦手な方もおられるのでそのバランスを考えることが課題である ・個別で来ていただく以外の時間で考えるとそれぞれのご家庭のリズムがあるのでそのことを踏まえると難しい場合がある	硬い感じのような集まりではなく茶話会のような自由に話もできる保護者同士の交流を行ったり、相談支援員が間に入ってサブ的な形でのが持てるようにしていければと考えている
2	支援時間の時間が決められているため、支援によっては次の方との時間がぎりぎりになってしまうことがある	支援内容を充実したものにすることはもちろん、時間的に余裕をもった支援にしていくこと	それぞれのお子さんに合った支援内容を提供し、限られた時間を有効に使って支援を行い、保護者様にも支援開始時間、終了時間をお伝えし、ご理解をいただく
3			